



K

東京
レズビアン
&ゲイ
パレード
2002
の
笑顔たち





夏の終わり、3000人近いゲイやレズビアンが、それぞれの喜びを精一杯表しながら東京の大通りをパレードした。趣向を凝らした十数台のフロートを中心に、歩き、踊り、笑い、扮装し、アピールする彼らの表情からは、まさに現在の同性愛者たちのリアルが伝わってくる。渋谷から原宿への沿道では、数千人の観衆が参加者たちを盛り上げ、彼らと感動のコラボレーションを創り上げていた。





M



M



S





M



K



K



M



M



K



M









K



M



K



M







K



K



K



K



K



東京レズビアン&ゲイパレード2002DATA

主催 ●東京レズビアン&ゲイパレード2002実行委員会

実行委員長 ●関根信一(劇団フライング・ステージ主宰)

実行副委員長 ●稲葉和香子/濱井健至

実行委員 ●山縣真矢/歌川泰司/太田昌二/春日亮二/小柳建二郎/野宮亜紀/森村明生

日程 ●2002年9月7日(土)前日祭/2002年9月8日(日)パレード

場所 ●東京都代々木公園イベント広場および野外ステージ

進路 ●代々木公園B地区園路→渋谷区役所前交差点→公園通り(バルコ前)→明治通り→

表参道→明治神宮前→代々木公園B地区園路

動員人数 ●前日祭約1,200人、パレード約2,700人

公式サイト ●<http://www.tlgp.org/>



パレードがメッセージするもの、それは、私が私であることのプライドだ。自分たちも「普通」なんだとアピールする一方で、その「普通」っていったい何なのか?という問い掛けもなされる。だからこそ、ドラッグクィーンやゴーゴボーイなど様々な扮装の「普通」ではない人々も登場する。レズビアン&ゲイ・ムーブメントで掲げられる七色(レインボー)の旗は、人間の多様性の肯定を主張するものだ。そう、「私が私であること」を受容し合う世界を創ろうという意志が、パレード参加者たちの笑顔には溢れている。 [文責・伏見憲明]

このカラーグラビアを東京レズビアン&ゲイパレード2002に関わった
実行委員とスタッフ、参加者の方々に捧げます